

第7章 廃棄物処理

1. 廃棄物処理問題

日本の廃棄物排出量は、大量生産・大量消費が進んだ高度経済成長期を通して、生活様式の多様化とともに大幅に増加しました。その伸びは、オイルショックで一時的に減少したものの、バブル期に再び増加に転じ、現在に至っています。政府は、廃棄物排出量の増加を食い止め、循環型社会を形成するための各種廃棄物対策関連法を制定し、廃棄物排出量の削減・リサイクルを推進しています。

2. 瑞浪市の状況

本市では、ごみ減量とリサイクル推進のため、ごみの出し方出前講座、マイバッグ使用の推奨、ごみ処理施設の見学会、生ごみ堆肥化装置等購入補助金、集団資源回収奨励金など、様々な対策を行っています。

平成27年度のごみ処理総量は14,991tで、前年度比で2.2%減少しました。家庭からの一人一日当りのごみ排出量は707gで、前年度より10g減少しました。一般廃棄物における事業系並びに家庭からのごみが、減少する結果となりました。

瑞浪市の家庭ごみ処理量

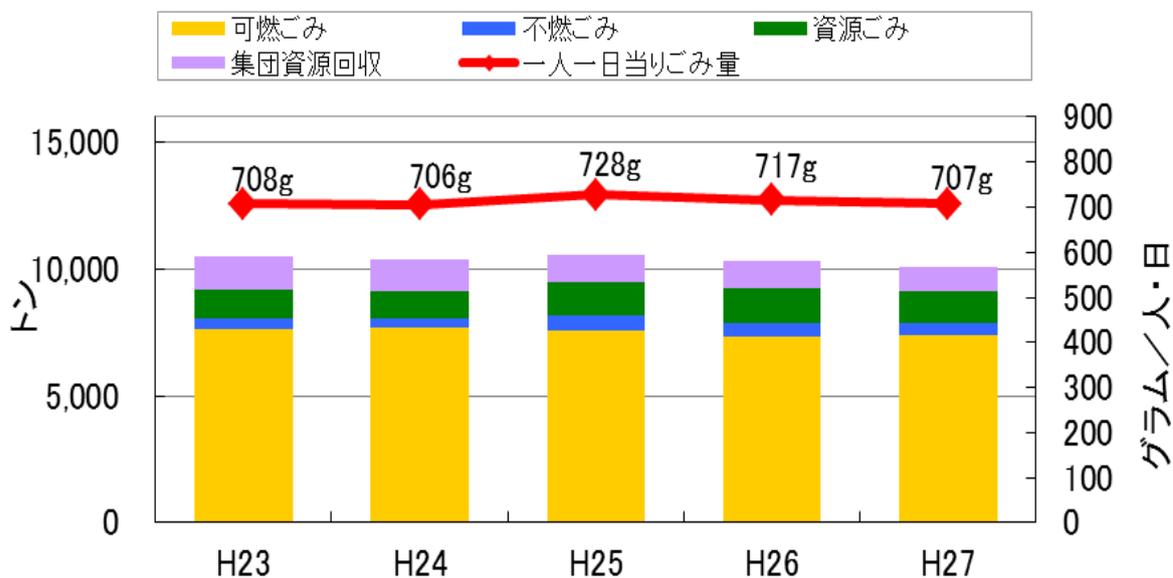


表 2.2. 可燃ごみ・不燃ごみ処理量の推移

(単位:t)

項目		年度	H23	H24	H25	H26	H27
可燃ごみ処理	直営収集		7,338	7,382	7,241	7,012	7,044
	許可業者		2,883	3,075	3,124	2,987	2,879
	事業持込		471	529	407	435	372
	個人持込		306	320	331	296	372
	汚 泥		61	49	51	44	52
	小 計		11,059	11,355	11,154	10,774	10,719
不燃ごみ処理	直営収集		587	548	554	507	514
	許可業者		14	15	15	17	17
	事業持込		737	892	590	642	518
	個人持込		77	89	106	105	126
	焼却灰・スラグ		1,078	1,110	1,083	990	1,075
	金属等持出		-209	-273	-165	-47	-205
	小 計		2,283	2,381	2,183	2,214	2,045
合 計			13,342	13,736	13,337	12,988	12,764

直営収集・・・市の地区収集量

許可業者・・・一般廃棄物収集運搬許可業者による搬入量

事業持込・・・事業者の持込量

個人持込・・・個人の持込量

汚 泥・・・浄化センターからの下水処理汚泥搬入量

焼 却 灰・・・クリーンセンターからの溶融飛灰持込量

金属等持出・・・不燃物最終処分場から業者への金属引渡り量

表 2.3. 資源ごみ処理量の推移

(単位:t)

項目		年度	H23	H24	H25	H26	H27
かん類	スチール		46	20	31	26	10
	アルミ		31	31	54	42	49
	小 計		77	51	85	68	59
びん類	カレット白		86	108	115	117	113
	カレット茶		100	105	99	106	94
	カレット雑		36	49	59	47	39
	リターナブル 本/t		31,530/29	27,034/25	21,100/19	26,486/23	22,446/20
	小 計		251	287	291	293	266
その他	ペットボトル		81	75	82	82	75
	紙パック		3	2	3	3	3
	古着		43	35	46	44	49
	トレイ		7	1	10	1	7
	廃食油 ℓ/t		7,200/7	7,490/7	7,800/8	8,000/9	7,350/7
	古紙・ダンボール		508	409	591	522	565
	金属		154	208	225	245	216
	スラグ		0	0	0	0	0
	小 計		803	737	964	906	922
合 計			1,184	1,131	1,075	1,267	1,247

表 2 4. 集団資源回収量の推移

(単位:t)

項目	年度	H23	H24	H25	H26	H27
紙 類		1,199	1,104	981	978	896
布 類		100	92	78	77	71
アルミ缶		6	6	5	5	4
牛乳パック		8	7	6	6	5
リターナブルビン 本/t		3,958/4	7,594/6	5,033/4	5,601/4	4,530/4
合 計		1,317	1,215	1,073	1,070	980

表 2 5. ごみ処理量とリサイクル率の推移

① 総処理量

(単位:t)

項目	年度	H23	H24	H25	H26	H27
焼 却		11,060	11,355	11,154	10,774	10,719
埋 立		2,283	2,381	2,183	2,214	2,045
資源化		1,144	1,075	1,341	1,267	1,247
集団資源回収		1,317	1,215	1,073	1,070	980
合 計		15,804	16,026	15,751	15,325	14,991

② 一般廃棄物の処理量

(単位:t)

項目	年度	H23	H24	H25	H26	H27
焼 却		10,527	10,777	10,696	10,295	10,295
埋 立		406	379	587	582	452
資源化		1,144	1,075	1,341	1,341	1,247
集団資源回収		1,317	1,215	1,073	1,070	980
合 計		13,394	13,446	13,697	13,312	12,974

※¹リサイクル率

	18.4%	17.0%	17.6%	18.1%	17.2%
--	-------	-------	-------	-------	-------

※ 1. リサイクル率：資源化と集団資源回収の全体における割合

③ 家庭からのごみの処理量

(単位:t)

項目	年度	H23	H24	H25	H26	H27
焼 却		7,644	7,702	7,572	7,308	7,416
埋 立		392	364	574	589	452
資源化		1,144	1,075	1,341	1,267	1,247
集団資源回収		1,317	1,215	1,073	1,070	980
合 計		10,497	10,356	10,560	10,308	10,095

一人一日当りごみ量

	708g	706g	728g	717g	713g
--	------	------	------	------	------

※²リサイクル率

	23.4%	22.1%	22.9%	22.6%	22.1%
--	-------	-------	-------	-------	-------

※ 2. リサイクル率：資源化と集団資源回収の全体における割合

3. 資源集団回収事業に対する奨励金交付状況

本市では、PTA等で実施している集団資源回収を促進するため、古紙・段ボール・紙パックの紙類に対して4.5円/kgの奨励金を交付しています。

表26. 集団資源回収量と奨励金交付額

年度	紙類回収量(t)	奨励金交付額(万円)	奨励金
H17	1,561	703	4.5円/kg
H18	1,482	667	
H19	1,477	665	
H20	1,463	658	
H21	1,355	609	
H22	1,316	592	
H23	1,207	543	
H24	1,104	497	
H25	981	441	
H26	978	440	
H27	896	406	

4. 生ごみ堆肥化装置に対する補助金交付状況

生ごみは、水分を多く含むため、焼却施設におけるエネルギー消費量を増加させてしまいます。本市では、コンポスト・電気式生ごみ処理機の購入に対する補助を行い、生ごみの堆肥化を促進しています。

表27. コンポスト・電気式生ごみ処理機の購入補助件数

(単位:円/基)

対象機器	年度	H23	H24	H25	H26	H27
コンポスト		33,800/8	30,400/9	43,400/12	20,000/6	23,000/8
電気式生ごみ処理機		180,000/9	100,000/5	160,000/8	280,000/14	220,000/11
合計		213,800/17	130,400/14	203,400/20	300,000/20	243,000/19

※ コンポスト購入補助(平成3年度～)：購入額の1/2を補助(限度額:5,000円)

※ 電気式生ごみ処理機購入補助(平成10年度～)：購入額の1/2を補助(限度額:20,000円)

※ 補助対象となる装置の限度数を1世帯につき1基から、コンポスト・電気式生ごみ処理機それぞれ1世帯につき1基へ変更(平成26年度～)

※ 補助対象となる装置を買い替える場合、すでに受けた交付決定日から5年を経過していれば、再度受給が可能(平成26年度～)